

乙 頁

第10号 (通巻第3巻第2号)
1983年6月30日 発行

守山市立埋蔵文化財センター発行
☎ 0775 (85) 4397

守山市服部町1318番地
〒 524-02

はじめに

命や輝しと、梅雨明け宣言を待ちむひる時節となりました。夏の扉の向こう側には、眩しい光線と猛暑が手ぐすねをひいており、一層の健康管理が必要な季節でもあります。同時に最もエネルギーなイメージもあるのではないのでしょうか。動物たちの中にも、啓蒙から夏に向って、次第にその活動を高めるといふ生態をとるものもいますが、当センターの活動も夏に向って、一層活発化してきました。今回の乙頁は、その上昇時の発掘調査の近況をお知らせしたいとおもいます。

XX

発掘調査たより

現在調査中の3遺跡、既に終了した調査、そしてこれからの調査について、各担当者よりお知らせします。なお既に終了した発掘調査において御協力頂いた皆様に紙面を借りまして、御礼を申し上げたいと思います。

下長遺跡

5月11日より、古高町780番地他に所在する下長遺跡の発掘調査を行なっています。守山市土地開発公社により工場用地として、造成されるために、そのうち北西側の約6500㎡を調査する予定です。

現在まで、調査は順調に進んでおり、古墳時代前期と推定できる遺構とそれに伴う素文鏡2点をはじめ、木器、土器が出土しています。

本調査地の道路向いには、幸田塚・松塚・狐塚の3基の古墳が現存しており、今後、古墳築造時の祭祀に関係する遺構を検出できる可能性もあり、大変興味深い環境下にあります。

なお、調査期間は10月まで予定しています。

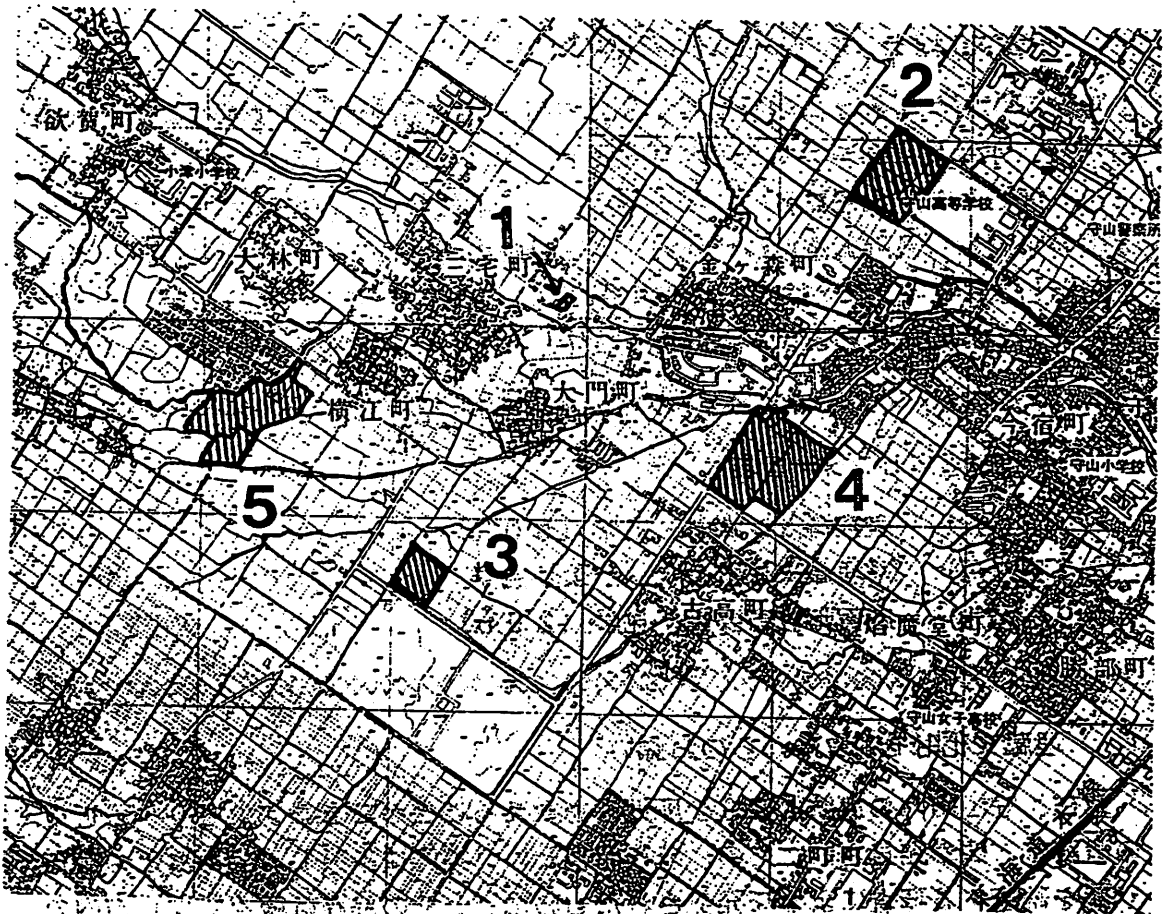
金森東遺跡

6月2日より、金森町字宅屋638番地他において、金~~い~~森東遺跡の発掘調査を開始しました。調査地は湖南開発事業団が宅地造成しようとするもので、28800㎡のうち調査面積は約2800.0㎡です。期間は約2年間を予定しています。

金~~い~~森遺跡は、今までに平安時代の集落跡が確認されていることから、今回の調査でもこの時代の遺物がたくさん出土すると思われます。また、近くには~~ほ~~遺塚古墳があることを考えますと、新たに古墳が見つかるかも知れません。このほか、今ま

古墳時代に入ると、当地は生活域としてより、むしろ墓域として利用されていたようです。近辺にも、古墳等は現存しておらず、確かな事は言えませんが、後世の削平をうけて消滅した古墳があったものと考えています。 (中納)

発掘調査地の位地図



- 1. 金森西遺跡 (個人住宅、調査終了)
- 2. 金森東遺跡 (担当者、畑本政美)
- 3. 下長遺跡 (担当者、岩崎茂)
- 4. 古高遺跡 (担当者、山崎秀二)
- 5. 横江遺跡 (担当者、宮下睦夫)

※ 2～5の調査地帯は、上記の担当者が調査にあっています。気軽に見学において下さい。

埋蔵文化財センター 整理作業のお知らせ

埋蔵文化財センターでは、現在、吉身南遺跡から出土した遺物の整理作業を中心に行なっています。この吉身南遺跡は、守山駅東口近くに位置し、現在マンション建設中です。発掘調査は、昭和57年4月から8月まで実施されました。古

